

| 評価項目 | | | 学校の自己評価 | | 学校関係者評価 | | 総合評価 | 改善点 |
|--------|---------------------------|--------------------|---|----|---|----|------|--|
| | | | 達成状況 | 評価 | 意見 | 評価 | | |
| めざす児童像 | かしこく | 自分の考えを持ち、ともに学び合う子 | ICTを活用した授業改善により、個々の思考を可視化しながら全体で共有することができた。考えの交流から、より学びを深めていくことが今後の課題である。 | B | ○子ども達は一つ一つの行事にしっかりと取り組んでいて良い。学校が楽しいと感じている。 | B | B | ICTの効果的な活用により、考えの交流をさらに充実させていく。 |
| | やさしく | 互いに認め、ともに励ましやり遂げる子 | よりよい人間関係が構築されており、友達のよいところに気づくことができる児童が多い。 | A | ●児童の優れているところをほめ、子どもたちが自信を持てるような指導をお願いしたい。 | A | A | 他校との交流も含め、多様な他者と協働しながら学ぶ教育活動の充実を図る。 |
| | たくましく | 運動に親しみ、ともに体力向上に励む子 | 全校生で取り組む活動（マラソン、なわとび）の充実により、進んで運動する児童が増えた。新体力テストにおいて、持久性の高まりが見られた。 | A | ●年度初めの目標の設定と共有により、一緒に何かを作り上げる喜びを知って欲しい。 | A | A | 活動の導入時に、目的を伝える機会と方法を工夫する。目標を達成している児童を称賛するとともに、自分の目標を設定する場を設ける。 |
| かしこく | 1 基礎学力「読み・書き・計算」の指導の徹底 | 書字力・計算力の向上を図る | 担任自作による年3回の「書字力・計算力テスト」及び、学年末の「漢字検定」を計画通りに実施できた。それらの取り組みも、基礎学力の定着を図る上で効果的だった。 | A | ○活字離れの中、漢字検定の取り組みは良い。 ●先生によって、指導の差が出ないようにしてほしい。 | A | A | 教職員間で、取り組みの目的を確認し、共通理解を図る。 |
| | | 学び方の習得 | 学習のしかた「みどりの学習スタンダード」に加え、タブレットの使い方についても確認した。 | B | ●タブレット等を使った新しい教育については、どのような宿題が出されているのか家庭に伝え、協力を得られるようにする。 | B | B | タブレットの使い方を、新年度初めに再度確認する。 |
| | | 授業と家庭学習のリンクの重視 | 学年に応じた「家庭学習マニュアル」を活用し、発達段階に応じた指導ができた。取り組み方には個人差があり、個別指導により対応してきた。 | B | ●テーマを決めて調べたり、発表したりすることを習慣にす | B | B | 少人数を生かして、個に応じた対応をより充実させていく。(学習相談の充実等) |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|------|----------------------|---|---|--|---|---|-------------------------|--|
| | 2 | 授業における言語活動の充実 | 少人数を生かした友達との「話し合い」のよさを実感できる授業 | ICTを活用した授業改善により、一人一人の考えを、全体で共有しながら学び合う。 | B | るのはいかがでしょうか。 | B | B | ICTを活用した取り組み方については、今後、教職員間で共通理解を図り、より充実させていく必要がある。 |
| | | 気づきを支え、考えを深める体験活動の充実 | 総合的な学習の時間において、体験活動の充実を図ることができた。考えを深めることについては、他の活動との関連づけを重視していく。 | B | B | | ICTを活用し、他の活動との関連と気づきをデータ化・可視化できるようにする。 | | |
| | 3 | 豊かな読書環境の整備充実 | 図書館支援員により、季節に合った掲示や本の整理整頓を定期的に行うことができた。 | A | ○親子読書の取り組み、良い。 ●タブレットにより本離れにならないようにして欲しい。 | A | A | 図書館支援員を活用し、委員会活動の充実を図る。 | |
| | | 書活動の推進 | 本に親しむ活動の工夫 | 図書委員会、図書館支援員の創意的な活動により、楽しみながら本に親しむ活動を進めた。 | | B | B | 読書に親しむ機会を、意図的に作っていく。 | |
| | | 家庭との連携の充実 | 年度初めのお便り、親子読書の協力依頼などを通して図書館教育について家庭に周知した。 | B | | B | 親子読書等で、家庭でも読書の機会が持てるよう、今後も協力を呼びかける。 | | |
| | やさしく | 1 | 認め励まし合う仲間づくり | 多面的な児童理解の推進 | 自己肯定感を感じることができる児童が増えている。学年の枠を超えた関わり、体験活動を充実させてきた。児童との教育相談の時間が、十分に取れなかった。 | A | ○先生方のきめ細やかなご指導のおかげで、評価が高くなっている。 ●自信が持てるための成功体験をさせる。それを学級会などで発表させる。 ●毎日続けられるテーマを見つけ、年度末にみんなで評価するのはどうだろう。 | A | A |
| 特別活動の充実 | | | 児童の発想による創意的な活動と、当番的な活動をバランスよく進めることができた。 | A | A | 委員会タイムについては、年間計画を立て、児童の創意工夫による活動をより充実させていく。 | | | |
| いじめを許さない人権教育の推進 | | | 年3回のいじめ調査により、児童の実態をつかむことができ、適切な指導・支援ができた。保護者にも悩みごとアンケートを取り、児童の実態を把握するとともに、指導に生かすことができた。 | A | A | 児童との教育相談の充実を図るため、十分な時間を確保する。 | | | |

| | | | | | | | | |
|-------|---------------|-----------------------|--|---|--|---|---|---|
| | 2 | めあてを明確にさせ、意識づけるための工夫 | 到達度が目に見えるようなカードやワークシートを工夫し、一人一人が目標に向かって意欲的に取り組めるようにした。児童は、めあてを意識して活動できた。事後指導については、学年間で差があった。 | B | | B | B | 児童が達成感を得られるような教師の関わり、言葉かけを工夫していく。活動の成果について、全体で共有する場を持つ。 |
| | 3 | 1時間1時間を大切にしたい授業の取り組み | 少人数を生かして、一人一人の考えに寄り添い尊重し合う授業を展開できた。 | B | | B | B | 道徳の授業を互見し、研修の機会を持つ。 |
| | 特別の教科道徳の時間の充実 | ポートフォリオ評価を大切にしたい累積の工夫 | 授業の記録を累積したファイルを作成し、児童の学びのあしあとが見られるようにした。 | B | | B | B | 評価につながるワークシート等の活用について、情報交換し合う。 |
| | | 家庭との連携の充実 | 道徳の授業を家庭に発信することができた。講師を招聘した「赤ちゃん誕生」では、保護者と連携し、ねらいに迫る実践ができた。 | B | | B | B | 学年だよりへの実践の掲載、家庭と連携した授業の展開を意識して進めていく。 |
| たくましく | 1 | 日常的に運動に親しむ態度の育成 | 運動身体づくりプログラムに継続して取り組み、新体力テストでは、運動能力の向上が見られた。 | B | ○マラソン、なわとびは、体力ばかりでなく、忍耐強く続けることの大切さも感じていると思います。 ●校内なわとび大会が新型コロナウイルスのため延期・中止など残念ではありますが、学校側として再度計画をお願いしていただきたいです。 | B | B | 授業で毎回行っている、運動身体プログラムや、その他マラソン、なわとびについて、児童が積極的に取り組む姿が見られた。児童が目的を理解した上で意欲的に取り組んでいけるよう、次年度も工夫していく。 |
| | | がんばりタイムの工夫 | 全校生で取り組んだマラソンでは、「マラソン新幹線」と題して、児童が楽しんで走ることが出来るよう、工夫した。 | A | | A | A | |
| | | 運動の日常化を図る体育的行事 | マラソン記録会、なわとび記録会に向けて、全校で取り組んだ。運動が日常化し、朝や休み時間に進んで練習する児童が増えた。 | B | | B | B | |

| | | | | | | | |
|------------------------|------------|--|---|---|---|---|--|
| 2 健康・安全を意識した生活習慣の育成 | 健康な生活習慣の確立 | 養護教諭が配布する、「生活チェックシート」により、児童の生活の実態を把握し、指導に生かすことができた。 | B | <ul style="list-style-type: none"> ●自分で決めた目標に向かって何ができるかを考え、達成できた時は全員で喜びを分かち合う。幼～6年まで継続したスタイルの確立。 ●毎日の朝食メニューの記録と発表をしてはどうか。 | B | B | 生活チェックシートについて、目的を周知し、ひき続き保護者の協力を得られるようにする。 |
| | 健康を守る習慣の獲得 | フッ化物洗口を継続して行ってきた。取り組みは習慣化され、定着しつつある。 | B | | B | B | 虫歯を予防することについて、児童がより意識していけるよう、今後も講師を招聘し指導を行う。 |
| | 食育の推進 | 講師を招聘し指導を進めてきたことで、児童はバランスのよい食事について、その大切さを理解することができた。 | B | | B | B | 家庭との連携を図るため、来年度は給食試食会をブロックごとに年3回行う予定である。 |
| | 安全意識の高揚 | 避難訓練、防災教育を通して、「自分の命は自分で守る」意識を高めることができた。 | A | | A | A | 教育効果を考え、必要に応じて、学校全体で指導する場を持つ。 |
| | 家庭との連携の充実 | ノーメディアデーを、PTA と連携しながら実践できた。定期的に保健だよりを発行し、家庭に注意喚起できた。 | B | | B | B | ノーメディアデーの取り組みについて確認、周知し、保護者との連携をより図っていけるようにする。 |

| 評価項目 | | 学校の自己評価 | | 学校関係者評価 | | 総合評価 | 改善点 |
|--------------|--------------------|---|----|---|----|------|---|
| | | 達成状況 | 評価 | 意見 | 評価 | | |
| 地域に根ざした教育の推進 | 地域と共に育つ学校・地域の発掘と活用 | 総合的な学習の時間を中心に、学校支援ボランティアに授業の支援をしていただいた。それにより、地域素材を生かした学習の充実を図ることができた。 | A | ○ホームページや、回覧板による「緑っ子夢通信」を見せてもらっています。 ○今までにない新型コロナウイルス対策などにより、安全を確保していただき大変だと思います。 | A | A | 担任との打ち合わせの時間を確保する。必要に応じて教頭がパイプ役になる。 |
| | 学校と地域の協働 | めだか・預かりとの情報交換の場を持つことにより、地域との連携をより図ることができた。各学年からのお便りやホームページ等で、日々様子を発信できた。 | A | ●地域の講師の積極的活用により、授業内容に変化をつける。 | A | A | 公民館(めだか)、子ども未来課(預かり)との連携を適切に行っていく。 |
| | 安全・安心な学校生活の実現 | 感染がまん延するのを防ぐため、児童を急ぎよ下校させる措置をとった。児童の安全を確保するため最善を尽くし、対応した。毎日の校内巡視、毎月の安全点検により、不備については迅速に対応できた。 | B | ●非常時、下校時刻が早まる連絡の周知徹底をお願いしたい。 ●非常時は、学校でも預かる体制を整えること、児童の安全確保上、周知を徹底することが、今後 | B | B | 非常事態には、学校の対応や協力依頼について、できるだけ早く保護者に連絡できるようにする。児童の安全確保のため、日頃から学校の体制を整えておく。 |
| | 保護者との同軸と協働の推進 | 保護者と共通理解を図りながら、PTA 活動を進めることができた。行事や会議がある時だけでなく、役員と日頃からコミュニケーションをとることで、スムーズに PTA 活動を進めることができた。 | A | も必要。 | A | A | 年度変わりには、後任者へ確実に引き継ぐことにより、PTA 活動がスムーズに運営できるようにする。 |

自由記述

【保護者】

2・3年

- 自分の意見をもっと言えるようになって欲しい。
- 掃除の時間は、トイレに行ってはいけないと思っていて、トイレを我慢していたようです。
- 言葉使いが気になる。

4年

- 来年は高学年となるので、自分で考えて行動できる力を身につけさせたいと思います。引き続きご指導よろしく願いいたします。

5・6年

- コロナ禍で大変な中、先生方にはご苦勞をかけることばかりですが、可能な限り工夫して対応していただき感謝しております。緑小のホームページも、毎回楽しみにしています。子ども達の活動について、こまめに更新して下さり、子どもとの会話のネタになりありがたいです。

【児童】

1年

- てつぼうができなかったけど、できるようになってうれしいです。さんすうがきらいだったけど、たのしくなりました。
- のぼりぼうを手だけでのぼれるようにならった。
- かんじのれんしゅうをがんばった。
- きゅうしよくをのこさずたべられるようになりました。
- うんていができるようになりました。かん字をおぼえるようになりました。
- マラソンをがんばっています。さかあがりをはじめたかいところでできました。
- さかあがりができるようになったよ。

2年

- マラソンきろくかい、たのしかったよ。
- うんどうかいで、赤組がかてて、とてもうれしかったです。まちたんけんのときに、かみなりがなって、みんながおうえんしてくれてとてもうれしかったです。
- 水泳のわくぐりじょうずにできた。よく考えて、「よし、こうだな。だいじょうぶだな。」ってかくにんできた。
- けんかをしないでなかよくあそべば、楽しくなる。
- 友だちとなかよくなれるコツがわかりました。こくごやさんすうなどをおぼえられました。
- きらいなかぼちゃがでたときに、がんばってたべた。
- べんきょうをがんばって、テストをだいたい100点にしたい。
- マラソンきろく会、がんばった。
- 町たんけんで、いろいろなところにいきました。

3年

- 運動会が楽しかった。
- マラソンをがんばった。
- フェスタをがんばった。水泳記録会をがんばった。
- 去年は「委員会タイム」がなかったけれど、今年は「委員会タイム」があって、いろいろな委員会の活動ができてよかった。
- プールをがんばった。

4年

- 勉強をがんばった。鼓笛練習をがんばった。
- 体育をよくがんばった。
- 人をたたくことをおさえている。
- きらいなものを食べられるようになった。
- 図書委員会をがんばった。
- 体をしっかり動かしている。きらいなものも残さないようにしている。
- 走ることや勉強をがんばれた。
- 緑っ子フェスタでしっかりと声を大きく出してがんばりました。

5年

- 早寝早起きをこころがけたい。
- がんばって漢字をやる。

6年

- 高学年として、他の学年の人たちをまとめて、6年生らしくいることをがんばったと思います。
- 自分は、今年、係活動やクラブ活動についてがんばったと思う。